

スプレー装置の詰まり (Choked at a spray device)

1 . 現象

スプレー塗装中、塗料の吐出が中断したりスプレーパターンが狭まり連続的な塗装が出来なくなる現象。(チップ詰まりの項も参考にする。)

2 . 原因

a . 塗料のゲル化物による場合

ポットライフの短い塗料や、無機ジンクリッチペイント等は、夏場の高温でホース内ゲル化を起こす事が多い。

b . 長期間使用によるもの

ホース内の塗料カスがコレステロールの様になり、次第に詰まる。

3 . 調査方法

a . エアレス塗装を実施し、連続的な塗装が出来るかを確認する。又は、塗装が中断した場合、チップをはずした状態で塗料が吐出するかどうかを確認する。吐出しなければ、スプレー装置か、テフロンホースの詰まりである。

b . テフロンホースの温度が異常に熱くなっているかを調べる。

無機ジンクリッチペイントやポリエステル樹脂塗料等は、ホース内でのゲル化を調べる。

4 . 対策

a . 開缶時、開缶後の異物混入に注意する。

b . 2液反応形塗料は早めに使い切る。又、夏場の高温によることが原因であれば、高温対策を取る。

c . 塗装前に塗装機の整備、清掃は十分に行う。

サクシオンホース先端(吸入口)にメッシュを取りつけると効果的である。また、テフロンホースは長期間使用すると塗料が蓄積するので適時交換する。

d . 洗浄を適時実施する。